

## 【仮想アシスタントによる個人用ボイスメモに基づく応答】 SoundHound

### ① 要約:

この発明は、音声 AI に特化した会社であるサウンドハウンドが開発した、忘れ物を防止するためのシステムです。ユーザーが音声でアシスタントにメモを残すと、AI がそれを解析し、関連する情報をデータベースに保存します。その後、ユーザーが忘れた情報を問い合わせると、AI が忘れ物の詳細を提示します。

### ② 目的:

この発明の目的は、度忘れを防止し、ユーザーが重要な情報を簡単に取り出せるようにすることです。特に、料理の調理時間や車のキーの場所など、よく忘れがちな情報に対して、ユーザーが簡単にメモを残し、後で取り出せるようにすることを目指しています。

### ③ 新規性:

この発明の新規性は、音声 AI を用いてメモを作成し、関連する情報をデータベースに保存するシステムである点にあります。既存の AI スピーカーでは、基本的な情報の問い合わせには対応していますが、より複雑な情報の記録と取り出しには対応していません。この発明は、ユーザーが AI と対話し、複雑なメモや問い合わせを行えるようにする新しいアプローチを提案しています。

### ④ 独自性:

この発明の独自性は、AI との対話によるメモの作成と取り出し機能にあります。既存の AI スピーカーでは、単純な問い合わせに対してのみ応答しますが、この発明ではユーザーが自由にメモを作成し、後で取り出せるようになっています。また、AI がユーザーの意図を解析し、関連する情報を提示できるようになっている点も独自性を持っています。

### ⑤ 経済価値:

この発明の経済価値は、ユーザーにとって便利なサービスを提供することであり、その結果として広告収益を得ることを目指しています。サウンドハウンドは、音声検索サービスを提供することで広告収益を得ており、この発明を活用することで、さらなる収益拡大が期待されます。また、この発明の独自性や新規性により競合他社との差別化を図り、市場での競争力を強化することも経済的な価値となる可能性があります。